

# 令和4年度 事業報告

## 社会福祉法人富士旭出学園

### <はじめに>

今年度は、法人50周年を迎え、過去を振り返り富士旭出学園の使命・役割を再認識する一年でありました。

当初、法人本部事務所は富士清心園に併設する予定で工事を計画しておりましたが、新型コロナにより施設を入所エリアと通所エリアに完全に区分けし感染対策を施すために、本部事務所を独立させることにしました。さらに、富士清心園創設工事は補助事業であるため補助内示の有無や工事期間を考慮し本部事務所の工事を先行して実施することにしました。折しも、法人50周年の年に事務所の新築工事が重なり、記念事業として法人の機能充実に向けて進めてまいりました。今年度、初めて各施設で新型コロナの感染があり、利用者、職員とも我慢を強いられる苦しい年でしたが、職員が知恵を出しあい利用者と共に乗り越えてきました。この経験を基に、利用者の生活環境と職員の職場環境に重点をおきながら、富士清心園創設工事の実現に向けて取り組むたいと考えております。

これまでの間、私たちは多くの方々からの支援や理解によって地域で育まれてまいりました。地域での質の高い障害福祉サービスが求められている中、法人の役割を自覚し地域と連携を密にして、利用者や地域の信頼に添えていく決意をもって次年度に繋ぎたいと思います。

### <法人運営>

#### 1. 理事会開催状況

(1) 第1回 決議の省略(決議があったとみなされた日 令和4年4月30日)

- ① 富士清心園創設工事入札参加資格委員会の設置について
  - ・ 入札参加資格委員名簿の提出
  - ・ 入札に係る実施要領の確認
  - ・ 社会福祉施設等整備事業の手引(静岡県健康福祉部)の使用
  - ・ 委員権限の確認
    - 手引に則り入札についての方針を決定
    - 入札参加資格確認申請及び資料を審査

(2) 第2回 令和4年6月2日(木)

- ① 令和3年度事業報告及び附属明細書(案)の承認
- ② 令和3年度計算書類及び附属明細書、財産目録(案)の承認
- ③ 定時評議員会の招集(案)について
- ④ 社会福祉充実計画の変更(案)について
- ⑤ 富士清心園創設工事について
- ⑥ 役員賠償責任保険について

- 報告事項 ・理事長職務の執行状況報告  
・理事長専決事項

(3) 第3回 令和4年9月29日(木)

- ① 令和4年度第一次補正予算(案)の承認について
- ② 定款変更(案)について
- ③ 基本財産の担保提供について
- ④ 評議員会の招集(案)について
- ⑤ 育児・介護休業に関する規則の改正(案)について
- ⑥ 富士清心園創設工事について
  - ・設計計画(案)
  - ・資金計画(案)

- 報告事項 ・理事長職務の執行状況報告  
・理事長専決事項

(4) 第4回 決議の省略 (決議があったとみなされた日 令和4年10月31日)

- ① 第2回評議員会の招集(案)について
- ② 定款の変更(案)について
- ③ 給与規程の変更(案)について

(5) 第5回 令和5年3月23日(木)

- ① 令和4年度第二次補正予算(案)について
- ② 令和5年度事業計画(案)について
- ③ 令和5年度当初予算(案)について
- ④ 諸規程の変更(案)について
- ⑤ 富士清心園創設工事について

- 報告事項 ・定款変更に伴う報告について  
・令和5年度職員人事について  
・理事長職務の執行状況報告  
・理事長専決事項

## 2. 評議員会開催状況

(1) 定時評議員会 令和4年6月17日(金)

- 報告事項 ・令和3年度事業報告及び附属明細書
- ① 令和3年度計算書類及び財産目録(案)の承認
  - ② 社会福祉充実計画の変更(案)の承認

(2) 第2回 決議の省略 (決議があったとみなされた日 令和4年11月22日)

- ① 定款の変更(案)について
- ② 基本財産の担保提供について

### 3. 登記事項

令和4年6月27日	資産の総額登記
令和4年9月14日	法人本部事務所保存登記
令和5年1月18日	法人本部事務所共同担保追加登記
令和5年3月10日	富士清心園借入金返済による担保解除

### 4. 届出事項

令和4年5月10日	障害者雇用納付金申告書（調整金受給）	（独）高齢・障害・求職者支援機構
令和4年6月29日	社会福祉充実計画の変更に係る承認申請	富士宮市保健福祉部高齢介護支援課
令和4年6月29日	法人税申告書（納付なし）	富士税務署・静岡県沼津財務事務所
令和4年9月30日	育児・介護休業に関する規則の変更届	富士労働基準監督署
令和4年12月27日	給与規程変更届	
令和5年1月24日	定款変更届書（基本財産の増加）	富士宮市保健福祉部高齢介護支援課
令和5年3月31日	時間外労働休日労働に関する協定届 就業規則、その他関係規程の変更届	富士労働基準監督署

### 5. 指導監査等の状況 実施なし

### 6. 監事監査等の実施状況

令和4年4月27日	監事監査研修会（オンライン研修）監事には各自オンラインで依頼
令和4年5月20日	決算監査
令和4年6月2日	理事会出席
令和4年6月17日	評議員会出席
令和4年9月29日	理事会出席
令和4年10月～11月	期中監査中止
令和5年3月23日	理事会出席

### <事業活動>

#### 1. 創立50周年記念事業

(1) 法人本部事務所竣工 令和4年8月末竣工 470.85㎡

富士清心園併設の本部事務所を独立した事務所として新築し、法人の機能充実を図ると共に法人50年のあゆみを展示

設 計 株式会社アルファ設計

施 工 井上建設株式会社

合 計 165,330,000円

(2) 創立50周年記念行事 令和4年10月22日（土）（感染症対策により小規模で実施）

- ① オンラインによる式典、本部事務所見学と写真撮影
  - ② 記念動画を各施設で鑑賞
- (3) 50周年記念誌 令和5年3月1日発行

2. 社会福祉充実計画の取組み

(1) 富士清心園創設（改築）事業

入札参加資格委員会 令和4年5月9日（月）

令和4年度工事に向けて国庫協議等の準備を進めてきたが、資材高騰と資材不足の影響により単年度事業の工期が難しいことから、令和5年度工事に変更となった。

工事が延期となったため富士宮市に社会福祉充実計画変更申請を提出し承認された。

(2)

社会福祉充実残額活用実績

単位：円

事業概要	令和4年度活用計画	令和4年度活用実績	令和5年度活用計画
富士清心園改築（創設）事業	0	0	239,180,000
法人本部事務所改築事業	45,900,000	45,900,000	0
合計	45,900,000	45,900,000	239,180,000

3. 利用者の立場に立った良質で安全・安心なサービス

(1) 新型コロナウイルス感染症への対応

① 新型コロナの発生による法人内の体制強化

感染者発生時は毎日定時に感染症対策委員会をオンラインで実施し、発生した施設の状況を法人内で共有し備品や職員支援など感染施設が孤立しないように協力体制を強化した

② 協力医療機関（フジヤマ病院）との連携強化

家族等の同意により利用者へのワクチンの集団接種を実施、感染者が発生した際の病院の協力体制に支えられた

(2) 感染状況

富士厚生園	R4.10.6～10.22 入所5名・職員9名	R4.11.1～11.13 通所6名
富士清心園	R4.7.25～8.16 入所11名・職員15名	R5.3.23～R5.4.5 入所23名・短期1名・職員3名
富士明成園	R5.1.20～2.15 入所26名・職員10名	
サニーヒル	R5.3.18～3.30 入居者5名・職員1名	

※ 個人の状況でワクチン接種ができなかった利用者など症状が顕著だったが、全体的に重篤な症状はみられなかった。

(3) Wi-Fi型インカムシステムの導入開始の目的と効果

① 職員の情報共有が円滑になり利用者の状況把握を速やかにする

② インカムのやり取りで現場全体の動きが把握でき業務の効率化に繋げる

③ 職員数が限られている夜間帯の安心安全の確保

※ 当初ICT補助金の活用を計画していたが補助金が中止となっていたため自己資金で導入、

効果が表れていない施設については定着と改善を進めていく。

(4) 自然災害への対応

- ① 南海トラフ地震震度6以上を想定した避難誘導
- ② タブレット端末を利用した各施設との情報伝達訓練
- ③ 休日の突発的な豪雨など管理者間でラインを利用した情報共有で連携強化  
→ 富士旭学園防災対策室

4. 人材育成と人材確保

(1) キャリアパス制度

- ① キャリアパス基準に基づき人事評価を実施した
- ② 参考評価基準を作成し理想の職員像を明確にした
- ③ 等級ごとの研修内容を提示して計画的に実施した

(2) 定着支援と職場内研修の強化

- ① 入職後の職員に先輩職員を配置して日常的に指導・育成支援を行った
- ② オンライン研修サポーターズカレッジを導入し各自の研修計画に則り受講・振返りを実施

(3) 採用活動

- ① 求人サイトを利用した採用活動
- ② 人材派遣会社との契約
- ③ 活動状況 ※ 離職者の補充や育休職員の代替に苦慮した

	求人サイト	hpから応募	ハローワーク	広告	職場実習	その他	合計
新卒採用	0	0	0	0	1	0	1
中途採用	1	2	2	1	0	3	9

5. 地域から信頼される公益的な取組みと情報発信

- (1) ホームページを活用した情報発信
- (2) 苦情・相談の改善策や対応状況の公表による透明性の確保
- (3) 学園の資源を提供し活動に協力
  - ① 学生等の実習受け入れ、研修の協力
  - ② フットレースの中継所として屋外トイレの利用
- (4) 防災拠点としての取組み
  - ① 障害者福祉施設等の使用協定
  - ② 防災倉庫の設置と備蓄食品の確保

6. 職員の働きやすい職場環境の実現

- (1) 衛生委員会を中心とした取組み
  - ① 職場におけるハラスメント防止
  - ② 職員の労災防止活動

③ ストレスチェック、定期健康診断の二次検査の推進、特定業務従事者健診、インフルエンザ予防接種の実施

④ 職場環境改善のため中央労働防止協会の管理監督者研修を実施

(2) 令和4年度に向けて女性活躍推進法に基づき行動計画を策定

女性が管理職として活躍でき男女ともに長く勤められる職場環境を目指した

	男性	女性	女性の割合
管理職の男女構成	6名	3名	33%
監督職の男女構成	7名	3名	30%

(3) 新型コロナウイルス感染症への対応

① 条件つきで新型コロナ特別休暇の設置

③ 抗原検査キットの配布

## 7. 新型コロナウイルス感染症による行事等への影響

- |                |                         |
|----------------|-------------------------|
| (1) 創立記念祭      | 施設をオンラインで繋ぎ利用者・職員のみで実施  |
| (2) 50周年記念事業   | 10月22日(土)利用者・職員で式典と記念撮影 |
| (3) おもいきり交流会   | 中止                      |
| (4) 富士旭出ふれあい祭  | 中止                      |
| (5) 子ども参観日     | 中止 学園紹介動画を作成し子ども達に配布    |
| (6) 旭出グループ関係事業 | オンラインで実施                |
| (7) 実習生の受入れ    | 感染症対策をした上で可能な範囲で受入れ     |

## 8. 苦情解決委員会・第三者委員会・虐待防止委員会

令和4年7月7日	第1回虐待防止委員会：外部委員参加
令和4年7月21日	第1回苦情解決委員会
令和4年10月6日	第2回苦情解決委員会 第1回第三者委員会 第2回虐待防止委員会：外部委員参加
令和4年12月22日	第3回苦情解決委員会 第3回虐待防止委員会
令和5年3月16日	第4回苦情解決委員会 第2回第三者委員会 第4回虐待防止委員会(身体拘束適正委員会含む)：外部委員参加

## 9. 苦情・相談受付内容

受付日	申出人	内容	対応
令和4年6月14日 (富士厚生園)	家族	利用者の衣類の管理と歩行の実施について	外泊時、衣類の準備と衣類の管理（靴も含む）に不備があった。さらに歩行について説明が不十分であったことから、職員の意識の低下を謝罪し利用者の不利益につながらないよう業務改善に取組んだ。
令和4年7月5日 (富士明成園)	利用者	ポータブルトイレ、ベッド、移乗時に怖い時がある。	安全配慮の重要性から統一を図ってきた支援ができていなかった。本人に支援方法について謝罪と説明を行い、職員が統一して安心安全を重視した支援を行うことを説明した。
令和4年7月7日 (富士明成園)	利用者	支援員Aさんが怖い。もっと優しく接してほしい。	双方の聞き取りと職員間で情報共有を行う。障害特性を理解して支援にあたることについて話し合い、支援部会議の中での勉強会を実施。虐待案件として通報したが虐待に該当しなかった。
令和4年9月16日 (法人本部)	後見人	マイナンバーカードの申請書類の転送の切手代が利用者負担であった。	一般的な法人からのお知らせや請求書などは施設負担であるが、個人の郵送物の関係は利用者負担でお願いしていると説明した。（重要事項説明書に記載）
令和5年2月28日 (富士厚生園)	利用者	みんなと一緒にお店に行き買い物したい、いつになったら行けるか。	新型コロナウイルス感染症の対応で3月中は外泊・外出制限とまだ感染リスクがある為、4月になったら検討したいと本人に伝え承知していただいた。

## 10. 虐待解決結果報告

通知日	行政機関	協議結果	改善の依頼内容
令和4年7月5日 (富士明成園)	富士宮市	身体的虐待 心理的虐待	遅延なく速やかに通報すること
令和4年8月2日 (富士清心園)	富士宮市	心理的虐待	//
令和4年12月20日 (富士明成園)	富士市	身体的虐待	//

## 11. リスクマネジメント委員会・感染症対策委員会

令和4年7月25日～8月16日	・富士清心園 職員、利用者新型コロナ陽性による状況確認と対応について
令和4年8月10日～8月16日	・富士明成園 職員新型コロナ陽性による状況確認と対応について
令和4年8月12日	・台風への対応について
令和4年10月7日～10月21日	・富士厚生園 職員、利用者新型コロナ陽性による状況確認と対応について
令和4年11月1日～11月9日	・富士厚生園 利用者新型コロナ陽性による状況確認と対応について
令和4年12月6日～12月8日	・富士明成園 職員、利用者新型コロナ陽性による状況確認と対応について
令和5年1月20日～2月6日	・富士明成園 職員、利用者新型コロナ陽性による状況確認と対応について
令和5年3月18日～3月30日	・グループホーム 利用者新型コロナ陽性による状況確認と対応について
令和5年3月23日～4月5日	・富士清心園 職員 利用者新型コロナ陽性による状況確認と対応について

## 12. 事故報告内容

内 容	富士厚生園	富士清心園	富士明成園	サポートセンター あさひで	サニーヒル
怪我（原因不明の受傷含む）	2	7	3	0	0
所在確認（施設内・施設外）	0	0	0	0	0
転倒・転落	10	11	8	0	0
興奮時の怪我	0	0	0	0	0
他害	2	3	3	0	0
破損	1	0	0	0	0
異食	0	0	0	0	0
誤薬・服薬ミス・服薬忘れ	5	1	6	0	0
所持品等の確認ミス	0	0	0	0	0
その他（職員・外部の不注意等含む）	0	1	1	0	0
職員車輛事故	0	0	0	1	0
行政へ報告した件数	2	0	1	0	0



### 13. 年間行事

月 日	行 事 内 容	
4月1日	辞令交付式 職員全体会議	新任職員採用辞令（各部署主任以上と採用職員のみ） 令和4年度事業計画等について
4月5日	お花見	感染予防しながら屋外でお花見弁当
4月7日	新任職員研修	新任職員 4名参加
4月16日	旭出グループ新任職員研修会	オンラインで開催 15名参加
5月18日	天理教富士支部 環境整備	富士旭出学園構内 草刈り・清掃などの奉仕活動 会員の方、約45名の参加者
5月28日	創立50周年記念式典	利用者・職員のみで縮小、オンライン利用して実施
6月	富士宮市福祉スポーツ大会	中止
7月1日・12日	利用者胸部レントゲン検査	
7月19日	夜間避難訓練	21:15 富士明成園出火想定
7月20日・21日・22日	利用者生活習慣病健診	
7月29日	子ども参観日	中止 富士旭出学園(親の仕事の様子)の動画の配付
8月1日	職員バス健診	蒲原病院健診車による定期健康診断
8月22日～26日	富士旭出作品展	富士宮市役所玄関ホールに作品展示
8月20日	小江戸大江戸トレニックワールド	富士山山麓一周フットレース 中継所として提供
8月	岳南九州人会 環境整備	中止
9月	東部地域成人施設スポーツ交流会	中止
9月1日	総合防災訓練	震度6以上の地震発生を想定し情報伝達訓練、避難誘導 訓練、AED訓練、非常食試食
9月1日～9月22日	ストレスチェック期間	職員自身がストレス状況を検査項目に応じて検査
9月13日	ドローン撮影会	50周年記念誌掲載のため屋外で集合写真
9月29日	おもいきり交流会	中止
10月22日	富士旭出ふれあい祭り 創立50周年事業	中止 法人本部の見学・写真撮影会
11月1日	社会福祉施設防災の日	震度6以上の地震発生を想定し情報伝達訓練、利用者避 難誘導、発電機・浄水器使用確認、テント設営
12月15日～12月19日	愛護ギャラリー展	富士明成園作品 銅賞
1月	就労激励会	サポートセンターあさひで 中止
1月23日～27日	富士宮市福祉作品展	富士宮市役所玄関ホールに作品展示
2月	富士山本宮浅間大社節分慰問	中止

#### 14. 合同委員会・合同会議

名 称	開 催 日	構 成 員
園長会	随時	理事長・施設長・事務長
運営協議会	月1回	理事長・施設長・事務長・課長
評価委員会	R5.2.3	理事長・施設長・事務長
衛生委員会	月1回 第4月曜日	産業医・衛生管理者・衛生委員
感染症対策委員会	随時	運営協議会・衛生管理者・看護師他
労務管理コンサルティング	月1回	社会保険労務士・事務長・施設長
予算会議	R4.10月・R5.2月	統括会計責任者・会計責任者・出納職員
固定資産会議	R5.2.14	統括会計責任者・固定資産管理責任者 会計担当者・事務課長・主査・主任
創立記念祭実行委員会	随時	当番施設実行委員長・各部署実行委員
50周年記念誌編集委員会	随時	理事長・課長
ふじあさひで編集委員会	4月～5月 随時 7月1日発行	各部署により委員会を構成

15. 職員の状況（R4.4.1～R5.3.31） ※ 嘱託職員は、定年後継続再雇用となった職員

①採用・退職・有給休暇（※継続再雇用、身分切替含む）

施設名	勤務形態	採用職員	退職職員	職員合計	有給休暇 取得実績
富士厚生園	正規	2	0	34（相談1）	73%
	嘱託	0	0	1	44%
	パート	1	1	5	50%
富士清心園	正規	0	0	20（相談1）	68%
	嘱託	0	0	4	65%
	パート	0	0	1	82%
富士明成園	正規	1	6	27（相談1）	64%
	嘱託	2	1	2	52%
	パート	3	0	4	61%
サポートセンター あさひで	正規	0	0	5	75%
	パート	1	0	1	—
グループホーム サニーヒル	正規	0	0	1	49%
	パート	2	2	4	64%
相談支援事業所ふじあさひで	正規	0	0	（兼務3）	—
合 計	正規	3	6	87（兼務3）	69%
	嘱託	2	1	7	58%
	パート	7	3	15	59%
総合計		12	10	109	67%

②産前産後休業、育児休業・介護休業・傷病休暇・労働災害

施設名	産前産後休	介護休業	傷病休暇	労働災害報告件数	
				（コロナ感染）	（その他）
富士厚生園	0	0	1	9	0
富士清心園	1	0	2	15	0
富士明成園	2	0	2	10	0
サポートセンターあさひで	0	0	0	0	0
グループホームサニーヒル	0	0	0	1	0
相談支援事業所ふじあさひで	0	0	0	0	0
合 計	3	0	5	35	0

# <第一種社会福祉事業>

## 障害者支援施設

### (富士厚生園)

利用者が「安心して安全に生活できる」ようにサービスを提供した。

そのためには、職員一人一人が健康でなければならず、職員が心身ともに健康に対する意識の高揚を図れるように努めた。

#### 1. 施設支援

##### (1) 勤務体制

早番1名(7:00~16:00)

遅番2名(12:00~21:00)

夜勤3名(15:00~24:00 準夜勤・0:00~9:00 深夜勤)

- ・日中支援する職員が不足するため、勤務時間をずらす等の工夫が必要となっている。

##### (2) 利用者与生活支援員の状況

###### ①利用者の状況

入所利用者 現員38名 定員40名

通所利用者 現員10名(契約者数) 定員20名

- ・利用者の定員を充足するため、富士宮市社協等の相談事業所に話を持ち掛ける。見学に3名の方が訪れたが、利用には至っていない。

###### ア) 入院状況

- ・大腿骨骨折1名 ・右排膿胸1名 ・白内障1名 ・てんかん発作呼吸不全1名

###### ②生活支援員の状況

利用者2名に対し生活支援員1名を配置した。(人員配置体制加算Ⅱの取得)

→生活支援員28名、看護師1名を配置

通所利用者10名(契約者数)に対しては、常時3名の職員を配置した。

- ・利用者の状況から本来であれば、生活支援員を増員したいが、近年、求人に対して応募がなくその対応に苦慮している。
- ・疾病に伴う薬の増量、通院件数の増加があり、看護師を2名配置としたが、他園の看護師離職により、1月より再度1名体制となる。

#### 2. 個別支援計画・面会について

利用者とその保護者との面談を下記のとおり実施した。

##### (1) 個別支援計画

- ・5~6月 新型コロナウイルス感染症が落ち着いていたため、対面で実施した。

- ・10～11月 新型コロナ感染症拡大のため、郵送にて実施。

## (2) 面会

- ・新型コロナ感染症対策として、外出外泊は基本的に自粛としたが、年末は陽性者数の減少がみられ通常に外泊を許可した。
- ・利用者本人、保護者の希望により、電話やオンライン面会を実施。

## 3. 健康管理と感染症予防

- (1) 個別支援計画に沿ったバイタルチェック（検温、血圧測定等）の実施。
- (2) 少しの異常でも早期の通院（医療に繋げる）を実施するが、誤嚥性肺炎と診断されるケースが増えている。
- (3) フジヤマ病院根本院長による往診を継続し、慢性疾患でフジヤマ病院にかかっていた利用者に対し、医師が往診していただけるようになり、通院が負担であった部分がかなり軽減された。
- (4) インフルエンザ予防接種を令和4年11月17日に実施。
- (5) 新型コロナワクチンの4回目（8月18・25日）、5回目（12月8日）の接種。
- (6) 感染症（新型コロナウイルス・インフルエンザ・ノロウイルス）対策（定期的な換気、手指消毒等）の徹底。
  - ・発熱通院時には、インフルエンザ検査と抗原検査を実施し、陰性であることを確認してから診察となった。（発熱外来待機：フジヤマ病院）
- (7) 行事の縮小と内容変更を行い、3密を避ける配慮を行った。
- (8) 職員の感染症対策徹底
  - ・職員には出勤退勤時の検温と寮内換気の徹底を図った。
  - ・3密を考慮し、外部研修を自粛し、オンライン研修、小集団での内部研修を実施。
  - ・県外移動、県外からの訪問等の自粛依頼。
  - ・富士清心園の感染状況報告を参照し、富士厚生園に即した対応の検討。
- (9) 緊急時の応援協定  
緊急時の食事を確保するため、株式会社大富士と災害時応援協定を締結する。
- (10) 利用者及び職員の新型コロナ感染状況
  - ・令和4年4月27日に給食部職員がPCR検査陽性（家庭内感染）となったため、4月28日から5月2日まで、外注の弁当対応とし、給食部職員に抗原検査を実施、全員の陰性を確認した。
  - ・令和4年10月6日、生活支援員がPCR検査陽性（感染経路不明）となり、10月7日から22日にかけて、入所利用者5名と職員9名に感染が拡大する。
  - ・令和4年11月1日、通所利用者1名の感染後、11月2日から9日にかけて通所利用者6名、職員1名の感染に伴い、11月5日から13日まで通所部門を休止した。
  - ・感染症発生時には、感染症対策委員会を開催し、他園から物心ともに協力を得ながら対応した。
  - ・利用者及び職員に重症者が出なかったことは幸いであった。

#### 4. 職員の危機意識の高揚（健康・安全管理対策）

- (1) ほうれんそう（報告・連絡・相談）の徹底。
- (2) 整理・整頓・清潔・清掃の習慣（しつけ）を身に着け、施設の環境美化に努めた。
- (3) 生活習慣に留意し体調不良の場合は、早期に通院し健康管理に努めることとし、職員検診にて異常があれば、かかりつけ医等に必ず受診しその結果を上司に報告することを徹底した。衛生委員、看護師を中心として健康管理に対する意識を高めた。
- (4) 職員とその家族から、体調不良の要因を施設に持ち込まないように徹底した。
- (5) 衛生委員を推進役とし、朝の打ち合わせ終了後に「体操・ストレッチ」を取入れ、転倒腰痛予防対策を行った。
- (6) ストレスチェックの実施とその結果を産業医に報告し、意見を求めた。
- (7) インカムを導入し、緊急時の対応と情報共有を行った。

#### 5. サービス提供者としての資質向上

- (1) サービス提供者としての自覚（接遇する姿勢）を持つ。
- (2) ゆとりある支援に努める。
- (3) 内部研修の実践と外部研修への積極的な参加。
  - ・新型コロナウイルス感染症の影響で中止となる研修も多く、オンライン研修への対応を行った。
- (4) 職員一人ひとりが事業所（施設）に愛着を持てるよう「帰属意識」を養う。

### （富士清心園）

#### 1. 施設支援

##### (1) 勤務体制

- ・夜勤職員2名体制を継続。
- ・生活介護は利用者の高齢化、重度化に対応するため、利用者2.5人に対し職員を1人配置し、緊急時にも速やかに対応できる体制を取っていたが、生活支援員の出産による減員があり、その後の職員補充ができなかったため3：1の職員配置となった。

##### (2) 日中活動の取組み

###### ① 寮外活動グループ

- ・農園芸活動を通じ、自然の中で無理なく身体を動かし健康維持を図ることを目的とし、収穫したものは食事やおやつに利用し、利用者に喜んでもらった。
- ・よもぎ活動については静岡県畜産技術研究所の敷地にて4回収穫を行い、よもぎ入浴剤として朝霧高原道の駅にて販売し、その収益で種苗・利用者おやつを購入した。
- ・環境整備として、寮内外の草刈りや植込みの剪定を行った。生活支援員2名が刈払機取扱作業員に対する安全衛生教育を受講した。
- ・コロナ禍においても、日中活動の充実化を図るべく、小グループで作業棟に移動できるよう調整した。

## ②寮内活動グループ

- ・通所利用者及び高齢利用者と屋外活動が困難な利用者を対象に、体力・健康・身体機能維持・作業前訓練を目的として行った。個々に合った課題を設定し活動を展開できた。コロナ禍のため、入所と通所のエリア分けを行いながら、工夫して個別の日課に沿った活動を行った。

## (3) 文化活動

### ①茶道（年3回 講師：芹沢千代子氏、塩谷順子氏、江波戸芳子氏）

- ・外部講師を招き、参加利用者の状況に合わせた活動内容とし、感染症対策のため回数を減らし実施した。
- ・利用者が楽しみにしているため、寮内にて講師なしで3回実施した。

### ②陶芸（年5回 講師：小割祥嗣氏）

- ・三園合同の活動に5名参加し、完成した共同作品は愛護ギャラリー展で発表した。

### ③書道（年4回）

- ・実施月によりテーマを提示し、利用者の感性にて自由に表現した。
- ・作品は支援員が工夫してデコレートし廊下に展示し、作品展にて発表した。

### ④音楽（年8回）

- ・「今月の歌」を利用者と一緒に決め、練習し、クリスマス会や納会で練習の成果を発表した。
- ・発表することを参加利用者も楽しみにしている。

### ⑤絵画、貼り絵

- ・愛護ギャラリー展や富士宮市福祉作品展での発表を目指して取組んだ。

## (4) 余暇活動

### ①DVD鑑賞会

- ・プロジェクターや2階談話室のテレビを活用し実施。寄付のあったDVDの中から、利用者が興味のある映画やアニメを上映した。

### ②カラオケ

- ・歌うことが好きな利用者を対象に実施し、外出しなくても利用者が寮内で楽しめるものとして取入れ、利用者の楽しみとなっている。

### ③希望外出

- ・感染症対策を行いながら、コンビニでおやつを購入し、公園でゆっくりと過ごす外出を実施した。

### ④季節行事

- ・コロナ禍において生活が単調にならないよう前期はキックボウリング大会、中期は屋外でマックを食べよう会、後期は新年会を実施した。

## 2. 健康管理

### (1) 感染症対策

- ・新型コロナワクチン接種行った。

- ・昨年度に引き続き、感染症対策を徹底した。定時の換気、消毒、マスクやフェイスシールドの着用を行った。利用者発熱時には、即感染症対応を行うことが定例となった。
- ・通所利用者と入所利用者が混在しないよう、可能な限り生活空間の分離を行った。
- ・新型コロナウイルス感染症発生シミュレーションをたて、対応訓練を行った。
- ・新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、外出・外泊を自粛していただき、希望があればリモート面会を実施した。
- ・上記対策を行うも、令和4年7月25日から8月16日にかけて、入所利用者11名、生活支援員及び看護師12名、令和5年3月23日から4月5日まで入所利用者30名、生活支援員3名が新型コロナウイルス感染症に罹患した。
- ・10月にインフルエンザ予防接種を実施したが、今季、インフルエンザの感染は確認されなかった。

## (2) 日常の健康管理

- ・早期発見、早期通院を心掛けるよう、毎日の健康チェックを継続して行った。

## 3. サービスの質の向上

- (1) 個別支援計画作成、モニタリング、個別面談を通して支援内容の共有、改善を行った
  - ・前期面談は、新型コロナウイルス感染症への配慮を行いながら対面で行ったが、後期面談は郵送にて対応した。
- (2) コロナ禍においても生活支援員の専門知識や支援技術の向上を図るため、動画配信研修(サポーターズカレッジ)を契約した。職位に応じた研修計画を立て、短時間かつ自由な時間で講座を受講できるため、月3、4回の受講を実施した。
- (3) インカムを使用し、緊急時の対応と情報の周知を行った。

## 4. 施設整備

- (1) 株式会社アルファ設計、入札参加資格委員会において創設工事に向けた取組みを行った。
- (2) 事務部の新築移動により旧事務所を支援員の会議室、更衣室、休憩室などに使用した。

## 5. 業務委託

- (1) シダックスフードサービス株式会社と食事サービスの業務委託契約を継続する。
- (2) 情報の共有を行い、急な食事変更にも対応し質の高い食事提供に努めた。

## (富士明成園)

### 1. 施設支援

#### (1) 勤務体制と利用者状況

##### ①施設入所支援

- ・早番職員2名、遅番職員2名、夜勤職員3名体制で行ってきたが、職員不足により平日



の早番を1名とし勤務の調整を行った。

- ・職員間で連携し、勤務者間で情報を共有し利用者支援を行った。
- ・発熱者が出た場合、北棟と南棟、南女子棟の行き来を制限し、感染症対策に努めた。
- ・利用者の不調が確認された場合、早期対応を心掛け、緊急時の対応を周知した。
- ・年間10名の入院があり、中でも腸疾患が多くみられた。排便コントロールが必要なケースが多く、状況に合わせて下剤を服用している。
- ・利用者の通院については、フジヤマ病院根本院長による往診により、直接病院まで引率する件数の減少につながった。また、フジヤマ病院から処方される薬について、院外処方に向けての調整を行っている。
- ・入所利用者現員45名（定員50名）
- ・精神疾患のある利用者2名が薬剤調整のため入院し、経過改善されず退所となり、新たに富士特別支援学校高等部卒業生1名、児童養護施設からの移行1名、通所利用から入所へ変更1名、計3名が新たに入所利用となった。
- ・入所定員の1割が欠員であることから、令和5年度は定員を満たすよう努めたい。

#### ②生活介護 人員配置体制加算Ⅲに変更

- ・利用者2名に対し生活支援員1名を配置していたが、年度途中で退職職員もあり、6月より2.5名に対して生活支援員1名配置に変更となった。サービスの質の向上を図るため、職員確保が必要な状況。

### (2) 日中活動

#### ①療育グループ

- ・重複障害・強度行動障害の利用者への体力づくり・個別活動により、利用者が落ち着いて取り組めるメニューを提供した。
- ・新たな利用者を迎えたことにより、若いエネルギーに満ちた利用者とは壮年期を迎えた利用者とのグループ内での活動のあり方が課題である。

#### ②生き生きグループ

- ・身体麻痺のある利用者へのリハビリ支援（個別メニューの継続）高齢者中心に楽しめる体操、個別活動を実施。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、フジヤマ病院にて年2回実施してきた定期評価の通院ができなかったため、既存のリハビリメニューを継続して行い、身体機能の低下を防ぐことに専念した。
- ・午後のゆとり活動については、場所を限定せずに居室・談話コーナー・多目的ホールなど感染症対策を行いながら生活のアクセントになるよう実施した。

#### ③自活グループ

- ・自立生活が困難な利用者にはビーズ、パズルなどの個別課題、寮内での歩行や体操、ボール体操を実施。
- ・創作活動でちぎり絵（富士山と紫陽花）を作成した。

### (3) その他の活動

- ①陶芸活動（毎月第三木曜日 講師：小割祥嗣氏）

- ・利用者9名が参加し、土に触れる楽しさと作品を仕上げる喜びを体感した。
- ・個々の作品については、球・棒・皿状のものをそれぞれの感性で組み合わせて作品作りを行った。
- ・愛護ギャラリー展に共同作品として「ふしぎな世界」を出展し、銅賞を受賞した。
- ・感染症対策のため、令和4年度は7回の実施。

#### ②音感療法（毎週火曜日 講師：梶田真弓氏）

- ・利用者20名が参加し、音感療法の考えを基に問題となっている行動の軽減等利用者それぞれの目的を明確にして実施。
- ・北棟、女子棟、南棟へと講師が場所を移動し、音感療法を行うスタイルを導入した。
- ・コミュニケーションが難しい利用者の音楽的感覚を養った。
- ・みんなで歌おう会（月1回）には20～30名参加した。
- ・令和5年3月7日に音感療法で取り組んだ内容の発表と歌おう会を実施。

#### ③園芸活動

- ・プランターを利用して、季節の花の寄せ植えを行った。
- ・季節に沿った花や植物の写真を談話コーナーや玄関に飾り、寮内に彩りが出せるように努めたことで、季節を伝えたり、花の名前を知ったりなど利用者とのコミュニケーションを増やすことができた。

## 2. 健康管理

- (1) 不調の訴えのできない利用者が多くいるため、バイタルチェック（検温、血圧測定等）を行い、普段と違う状況に気づいた場合は、医療機関への早期受診を行った。
- (2) 感染症対策
  - ・インフルエンザ予防接種を令和4年11月10日に実施、**利用者の発症はなかった。**
  - ・新型コロナウイルス対策について、4回目のワクチン接種を令和4年8月18日から9月12日の期間、5回目接種令和4年12月8・15日に学園にて行った。
  - ・昨年度より引続き感染症対策に努めてきていたが、令和5年1月20日に新型コロナ感染症を利用者が発症し、2月20日までの期間に利用者26名、生活支援員10名が罹患した。

## 3. サービスの質の向上

### (1) 虐待防止への取り組み

- ・権利擁護マニュアルを朝の打合せ時に唱和し、権利擁護に対する意識付けを行った。
- ・支援員の資質向上を目的とし、強度行動障害を伴う利用者に対しての支援内容の見直しを行った。

### (2) 職員の資質向上委員会における取り組み

- ・年2回（前・後期）業務内容チェック表を配布し、自己評価アンケートを実施。
- ・職員間での引継ぎ、情報共有を速やかに行えるように、サイボウズ上に「職員掲示板」を設けたが、職員の不足もあり5月より稼働しなくなった。

- ・意見箱を設置し、業務上の意見や支援の提案などを投稿してもらった。

### (3) 内部研修の実施

- ・サポーターズカレッジを導入し、キャリアパスにおける区分ごとに年間を通じて Web 研修を受講した。
- ・「接遇」について勉強会を支援部会議にて実施した。
- ・「落雷時の対応マニュアル」「布団等の洗濯スケジュール表」を作成した。
- ・職員不足により予定通りの入浴が困難な状況が続いたため、入浴表を新たに作成。
- ・富士圏域自立支援協議会が主催する「強度行動障害フォローアップ研修」に参加し、「富士明成園における強度行動障害への支援」の報告・発表を行った。

### (4) 生活向上委員会による寮内清掃や消毒の実施。

- ### (5) 利用者・保護者満足委員会において、行事ごとに利用者アンケートを実施し、意見や感想を確認している。今後、より具体的に行事に反映できるよう努める。

## 4. 施設整備

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策に必要な物品として、空気清浄機を追加購入した。
- (2) 環境改善として第1・2食堂の照明をLEDへ交換し、人工観葉植物（光触媒）を購入設置し、少しでも自然を感じられるように工夫した。
- (3) 不良となっていた外壁街灯の修繕を実施。
- (4) 必要な介護用品を購入し、利用者の生活の拡充を図った。

## < 第二種社会福祉事業 >

### 障害福祉サービス事業

#### (サポートセンターあさひで)

利用者の「働きたい」という願いを一人ひとりに焦点を当てて、体験や経験の機会を提供する中で関連機関との連携を図り、安定した就労（一般就労・福祉的就労）の実現に取り組んだ。

#### 1. 就労移行支援 定員6名

##### (1) 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
のべ 利用	53	70	56	52	44	38	44	51	56	52	47	40

- ・利用延べ人数 603名

- ・収入額 合計 4,699,637円

(2) 利用者の適性に合わせた個別支援計画の作成

- ・利用者の基本的な適性を図るために事業所内で下請け作業を行い、出勤状況、適性や課題の把握等基礎的な訓練を実施したうえで、企業見学・職場実習を実施。
- ・一般就労の実現

(3) フォローアップの強化

- ・仕事が終了した後や休日に、日中一時支援の利用を可能とし、本人の状況把握や相談等を実施。

2. 就労継続支援B型 定員 14名

(1) 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
のべ 利用	330	335	343	302	320	318	338	308	320	305	290	318

- ・利用延べ人数 3,827名
- ・収入額 合計 24,253,752円

(2) 安定した生産活動の機会を提供するため、施設外就労と下請作業の支援を実施。

①施設外就労

- ・法人の受注・・プール清掃・エアコン清掃、外トイレ清掃等
- ・サンファーム富士山・・アメラトマト栽培用ビニールハウスの片付け作業
- ・羅松園・・盆栽の苔・雑草取り、盆栽の植替え準備等を実施
- ・オールしずおかベストコミュニティ農福連携事業・・地元農家にて令和4年8月19日から9月14日の期間にて落花生の収穫・分別作業

②下請作業

- ・今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあまり受けることもなく、年間を通じて作業が確保できた。
- ・令和4年2月よりメダカ産卵用キット作成作業を開始したが、7月より生産数の調整があり作業が停止している。

③自主生産

- ・蜜蝋ロウソクの販売・・企業からの注文はないがセンターの玄関に展示し希望者に販売、今後はイベント等での販路を開拓したい
- ・雑巾・・給食部からの注文（無地雑巾）が定期的に入る一方、「こころぴかぴかタオル雑巾」として絵柄のタグを付け販売
- ・古紙及びアルミ缶回収・・法人敷地内に回収ボックスを設置し、定期回収場所の拡充を継続、企業からの古紙回収量も安定  
⇒ 富士宮市古紙等リサイクル活動団体に登録し、奨励金の交付を受ける

(3) 令和4年度 平均工賃額 18,069円（前年度 12,823円）

3. 就労状況

サービス区分	就職先及び採用日
就労移行支援 採用者2名	特別養護老人ホーム星の郷（施設内清掃） 採用日：令和4年4月1日
	株式会社松屋フーズ（製造ライン・パレット片付け） 採用日：令和4年7月4日

#### 4. 内職（施設外就労含む）取引先

サービス区分	企業名	作業内容
下請作業	富士大洋株式会社	クラフト箱折り
	富士宮通運株式会社	化粧品箱折り
	サヌキ印刷株式会社 静岡支店 富士工場	箱折り（菓子、蒲鉾等）各種
	富士宮ターポリン工業所	緩衝材（紙）の折りと結束
	株式会社フジマクロ	古紙・アルミ缶回収
	コアレックス信栄株式会社	古紙（古紙回収ボックス）
	ライフサポートいずみ	車部品
	アイパックスイケタニ株式会社 西富士営業所	菓子箱折り
	アイパックスイケタニ株式会社 山宮営業所	車部品の緩衝材・古紙回収
	株式会社ミプラス	メダカ産卵用キット
	富士宮市選挙管理委員会	選挙啓発ウエットティッシュ袋詰
施設外就労	社会福祉法人富士旭学園	各種清掃業務
その他	コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社・東海ビバレッジ株式会社	法人内自動販売機清掃・消毒管理
	社会福祉法人富士旭学園	法人行事粗品等準備

#### 5. 関係機関との連携

ハローワーク・関係機関・企業等との連携に努め、特別支援学校や特別支援学級からの実習生を積極的に受入れ、卒業後の進路先としても受入れを行った。

#### 6. 地域との関わり

事業所を地域福祉資源としてとらえ、利用方法等について検討し、事業所についての説明会は随時対応し、事業所を理解してもらうように努めた。

#### 7. 防犯体制・防火体制の確立

- ①総合警備保障株式会社による防犯体制
- ②プロパンガス発電機の購入後、定期的に点検を行う

## 8. 個々の利用者のニーズに対応できる支援

### (1) 文化活動（絵画・創作等）

愛護ギャラリー展、富士宮市福祉作品展、富士旭学園作品展等へ出展

### (2) 健康管理

- ①感染症予防マニュアルに則った、手洗い・うがいの習慣を励行
- ②在宅要介護者歯科保健支援プログラム  
富士宮市保健センターにて令和4年9月7日実施
- ③希望者へのインフルエンザ予防接種を実施

## (共同生活援助事業所 サニーヒル)

### 1. 利用者の状況

- (1) あわくらホーム 定員：男性6名 現員：5名
  - ・一般就労3名 福祉的就労2名
- (2) 三園平ホーム 定員：女性5名 現員：5名
  - ・一般就労2名 福祉的就労3名

### 2. 支援の状況

#### (1) 生活支援員の配置

- ・生活支援員を配置することにより、日々利用者や世話人と対面することができ、問題の早期発見、早期解決ができた。
- ・生活支援員の勤務体制に、当直・早番・遅番を取入れることにより、夜間の利用者の状況を把握し、個別支援計画に反映することができた。
- ・通院、食事注文、小遣い管理、帰省把握、相談事業所との連絡の業務を、生活支援員が担うことにより、急遽の変更に対応し迅速に対応を行うことができた。

#### (2) あわくらホーム

- ・世話人 2名
- ・勤務時間 6：30～9：30、16：00～19：00（1日の支援時間：6時間）
- ・令和5年1月より体験利用として利用者が1名増員となった。しかしながら、3月に1名、体調不良がきっかけになり、ホームでの生活が難しくなり退所となった。（富士清心園の短期入所を利用）

#### (3) 三園平ホーム

- ・世話人 3名
- ・勤務時間 6：30～9：30、16：00～19：00（1日の支援時間：6時間）

- ・1名の体験利用を行い、令和5年1月からの増員につながった。
- ・軽度の麻痺がある利用者を受け入れたことから、浴室や玄関等必要な箇所へ手すりの取り付けを行った。

(4) 利用者の健康への配慮

- ・朝、夕の食材を業務委託し、栄養管理、食事量の配慮を業者と調整しながら行い、食費に見合う食事内容を検討している。
- ・健康チェック（血圧・体温測定）、服薬支援を行い、利用者の健康管理に努めた。
- ・新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、外出外泊の自粛を行った。行動範囲の制限など、利用者の協力のもと理解を得ながら実施した。
- ・令和5年3月18日に両ホームにて、新型コロナウイルス罹患が発生し、その後、あわくらホームでは利用者2名、三園平ホームでは利用者3名と世話人1名が罹患した。それぞれの利用者の就労先や日中の利用事業所の指示により対応した。感染者発生中は世話人の業務を省力化し、法人内各園、各部署の協力で対応した。

(5) その他

- ・各ホームで非常食及び衛生用品の補充を行った。
- ・緊急時への備えとして、法人・施設の連絡先を各ホームへ掲示している。
- ・災害時及び緊急時に備え、総合警備保障(株)との契約を継続している。

(6) 利用者の交流

- ・新型コロナウイルス感染症への配慮から、利用者交流事業（日帰り旅行）は中止し、各ホームにてクリスマス会を実施した。

## (障害者短期入所事業)

居宅においてその介護を行う者の疾病、その他の理由により短期間入所を必要とする障害者に対し入浴、排泄、食事等の介護や日常生活上の支援を実施した。

### 1. 富士厚生園 定員5名

① 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
のべ 利用	9	9	7	11	11	9	4	10	11	9	9	17

② 利用のべ人数 合計 116名 (昨年度137名)

③ 収入額 市町 合計 918,153円 利用者 合計 82,768円

### 2. 富士清心園 定員3名

① 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
のべ 利用	17	24	18	16	9	8	10	16	11	12	16	41

② 利用のべ人数 合計 198名(昨年度214名)

③ 収入額 市町 合計 1,592,288円 利用者 合計 142,494円

### 3. 富士明成園 定員6名

#### ① 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
のべ 利用	28	16	21	7	0	0	0	2	2	0	0	0

② 利用のべ人数 合計 76名(昨年度164名)

③ 収入額 市町 合計 664,242円 利用者 合計 51,298円

## 指定計画相談支援事業

(指定特定相談事業所 ふじあさひで)

### 1. サービス利用支援

- (1) 障害福祉サービスの申請に係る障害者の心身の状況、環境、サービス利用に関する意向その他の事情を勘案し、利用する障害福祉サービスの種類及び内容を記載した「サービス等利用計画(案)」を作成→支給決定後に、支給決定に係るサービスの種類及び内容、担当者等を記載した「サービス等利用計画」を作成

### (2) 計画作成実績

提供年月	支給市町村及び件数	計
令和4年 4月	富士市 1件 葉山町 1件 渋谷区 1件	3
5月	富士市 1件	1
6月	沼津市 1件	1
7月	富士宮市 49件 伊東市 2件	51
9月	富士宮市 1件 三島市 1件 焼津市 1件 杉並区 1件	4
10月	富士宮市 1件 牧之原市 1件 港区 1件	3
11月	富士市 1件 静岡市 6件	7



12月	沼津市 5件 小山町 1件 鎌倉市 1件 小田原市 1件 板橋区 1件	9
令和5年 1月	板橋区(12月分) 1件 富士宮市 1件 伊豆市 2件	4
2月	世田谷区 1件	1

提供件数合計 84件

## 2. 継続サービス利用支援

(1) 支給決定の有効期間内において、当該者に係るサービス等利用計画が適当であるかどうか、指定された期間ごとに、「サービス等利用計画」の評価(モニタリング)を行った。

(2) モニタリング実績

提供年月	支給市町村及び件数	計
令和4年 4月	富士宮市 2件 富士市 2件 静岡市 7件 沼津市 1件	12
5月	富士宮市 2件 沼津市 5件 鎌倉市 1件 小田原市 1件 板橋区 2件 寒川町 1件	12
6月	富士宮市 13件 伊豆市 2件 小山町 1件 都城市 1件	17
7月	富士宮市 1件 世田谷区 1件	2
9月	富士市 12件 渋谷区 1件 品川区 1件 練馬区 2件 富士河口湖町 1件	17
10月	富士宮市 2件 富士市 3件 静岡市 1件 葉山町 1件	7
11月	富士宮市 3件 寒川町 1件	4
12月	富士宮市(10月分) 1件 富士宮市 63件 伊東市 2件 都城市 1件	67
令和5年 2月	三島市 1件 焼津市 1件 杉並区 1件	3
3月	富士宮市 1件 富士市 1件 牧之原市 1件 港区 1件 渋谷区 1件	5

提供件数合計 146件

## <公益事業>

### 地域生活支援事業

#### (日中一時支援事業)

日中における活動の場を確保し障害児(者)の家族の就労支援並びに一時的な休息を目的として支援を実施した。

1. 富士厚生園 定員3名

① 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
のべ 利用	20	18	21	23	21	20	13	12	22	22	19	26

② 利用のべ人数 合計 237名

③ 収入額 市町 合計 878,400円 利用者 合計 6,050円

2. 富士清心園 定員3名

① 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
のべ 利用	31	39	55	29	15	29	35	40	33	23	30	28

② 利用のべ人数 合計 387名

③ 収入額 市町 合計 1,814,400円 利用者 合計 134,200円

3. 富士明成園 定員6名

① 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
のべ 利用	12	5	4	5	3	5	8	4	3	2	3	5

② 利用のべ人数 合計 59名

③ 収入額 市町 合計 410,400円 利用者 合計 32,450円

4. サポートセンターあさひで 定員5名

① 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
のべ 利用	25	24	18	15	9	15	14	12	15	12	13	12

② 利用のべ人数 合計 184名

③ 収入額 市町 合計 405,000円 利用者 合計 0円